

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 443 号	氏名	森高 健太郎
学位審査委員		主査	林 善彦
		副査	池田 通
		副査	村田 比呂司
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 本研究は外側網様体核が鍼鎮痛における内因性鎮痛機構 特に下行性鎮痛機構にいかなる関与をしているかを解析するために行った研究である。目的十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に対する評価 電気生理学的手法を駆使して、外側網様体核ニューロン活動を記録している。ニューロンの入出力関係は衝突試験で確認されており、投射、非射ニューロンの同定を行っている。さらに、2 連ガラス管電極を用いて微小イオン泳動法により薬物の投与を行っている。これらの方法は、本研究の目的に照らして妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 本研究では、外側網様体核ニューロンが関与する鍼鎮痛が惹起されるメカニズムとして、大縫線核に投射する外側網様体核ニューロンがオピオイド性に抑制されることにより、大縫線核へのノルアドレナリン性の脱抑制で下行性の鎮痛系が賦活され、さらに脊髄に投射する外側網様体核ニューロンが興奮することにより直接的に脊髄でノルアドレナリン性の抑制を引き起こすことが示された。今後、鍼鎮痛の中枢メカニズムを解明していく中で、重要なデータになると思われる。</p> <p>以上のように、本論文は鍼鎮痛の中枢メカニズムを解明する一連の研究のなかで重要な位置を占め、かつ今後の研究の進展に寄与するところが大きい。審査員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			